

開講科目名 / Course	精神看護学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期 / Second	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	杉本 圭以子	
担当教員名 / Instructor	杉本 圭以子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	生物 - 心理 - 社会的存在としての人間の健康を、主に心理社会的側面から理解するために必要な視点と基礎知識を学ぶ。社会構造や生活様式の変化に伴う精神的健康に関する課題を考え、精神医療の歴史的反省と当事者支援におけるリカバリーの考え方についても学ぶ。	
到達目標	1. 精神的健康を、国際生活機能分類およびリカバリー概念と関連付けて説明できる。 2. 社会構造や生活様式の変化に伴う精神的健康に関する課題について説明できる。 3. 現代の精神保健医療福祉が目指すことを、日本の精神医療史における人権問題をふまえて、一次・二次・三次予防の観点から説明できる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、5.地域性・国際性	
授業計画	01. 精神的健康とは、精神（心）のとりえ方 02. 精神（心）の発達に関する主要な考え方 03. 家族と精神（心）の健康 04. 暮らしの場と精神（心）の健康 05. 危機状況と精神（心）の健康 06. 現代社会と精神（心）の健康(1) 職場におけるハラスメント、児童虐待、不登校、自殺 07. 現代社会と精神（心）の健康(2) 依存症（アルコール、薬物、ギャンブル）、犯罪 08. 精神保健医療福祉の歴史と現在の姿	
その他の授業の工夫	学生自身が主体的に学び、より深く理解するために、アクティブラーニングを組み込む。理解を深めるため、視聴覚教材を多用する。知識の定着を図るため、小テストを実施する。	
時間外学修	事前学習：各回テーマに関連するニュース、出来事の記事を探し、あらかじめテーマと精神的健康との関連を考える（16h）。 事後学習：学習した内容を演習、実習に活かせるよう整理する（6h）。	
評価方法と評価割合	筆記試験80%、小テスト10%、提出物10% *出席を前提としているため欠席の場合は減点の対象とします。	
テキスト	新体系看護学全書 精神看護学1 精神看護学概論 / 精神保健（メヂカルフレンド社）	
参考書	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1] 精神看護の基礎（医学書院） 精神看護学 精神保健・多職種のつながり 心・からだ・かかわりのプラクティス（南江堂） ナーシング・グラフィカ 精神看護学1 情緒発達と精神看護の基本（メディカ出版）	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	杉本圭以子：精神科病院、精神科クリニックでの看護師としての経験
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	精神科での勤務経験を活かし、精神保健について個人の発達とライフサイクル、家族、学校、職場、地域における精神保健、社会病理現象、精神保健医療福祉の歴史と現状、権利保障や法・制度等幅広い視点からわかりやすく伝える。	